

慶應義塾大学大学院 文学研究科 後期博士課程

国文学専攻

3つのポリシー

【ディプロマ・ポリシー】

国文学専攻では、課程修了時に学生が身につけるべき能力として以下のものを定め、学則に従って修了要件を満たし、博士論文審査に合格した学生についてはこの能力を身につけた者と認め、博士（文学）の学位を与える。

1. 国文学研究ならびに日本語学研究を内容として博士論文を執筆し、当該領域の研究に独創的な寄与を成し、研究の発展に大きく貢献することができる。
2. 研究対象とする分野について、最新の研究動向や研究課題に精通し、包括的で深い専門知識を有し、独創的な研究成果を日本国内・国外に発信することによって、その分野の研究に貢献することができる。
3. 日本文化の文化的、歴史的、地理的特性を異文化との相対性の中で深く洞察して課題を発見し、それを解決してゆくための議論や実践に資する高度なリサーチ能力、批判的分析能力、プレゼンテーション能力を身につけ、高度な日本文化及び異文化リテラシーを備えた社会人、研究者、教育者として、日本社会及び国際社会に独自の貢献ができる。

【カリキュラム・ポリシー】

国文学専攻では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として以下のカリキュラムを編成する。

1. 国文学研究ならびに日本語学研究の発展に貢献することのできる独創的な博士論文の執筆を可能とするために、指導教員が担当する特殊研究科目を設置し、また指導教員による個別指導を行なうことによって、高度な調査能力、課題発見能力、本文読解能力、資料分析能力、議論構成能力を養う。
2. 専門領域において最新の研究動向や研究課題に精通させるために、特殊研究科目を設置する。また、研究成果を学会や専門誌で発表することを目的として具体的な指導を行なう。
3. 個別の専門的研究を国際的かつ独創的に展開し、高度な日本文化リテラシーを身につけることを促進するために、日本国内・国外で開催される研究集会への積極的参加を推奨する。

【アドミッション・ポリシー】

国文学専攻では、次のような資質を持つ学生を求めている。

1. 自分の研究領域及び関連分野について、高度な専門的知識を持っている。
2. 修士課程における専門的研究をふまえて、独創的な博士論文に結実させる具体的な研究計画を立てている。
3. 文献資料を正確かつ批判的に読むことのできる分析的な読解力、独創的な学術的論考を著述することのできる論述能力を身につけている。
4. 博士課程修了後の社会人、研究者、教育者としてのキャリアについて、積極的かつ具体的に考えている。